

住まいる ニュース

vol. 16

Q.“中間領域”ってなに？



A.



内部でありかつ外部でもあるような曖昧な空間のことです。

言葉にすると少し難しいですね。

主にデッキや縁側がその役割を果たしてくれます。

腰掛けで本を読んだり、ご飯を食べたり

天気のいい日は開け放しで風を感じながら料理をしたり。。。

外にでるのはちょっと億劫。と言うときにでも

身近に自然を感じられますね。

人にとって外部や自然と触れ合うことは大切なことです。

中間領域は暮らしに豊かさや落ち着きを与えてくれます。



この中間領域のポイントとなるのが深い庇があること。

そんな空間は古くからの日本の建築に多くみられます。

このような空間を心地よいと感じる心は、今も昔も変わらず、日本人に心に潜在的にあるのかもしれませんね。



建築中の現場のご紹介

現在進行中の現場をご紹介します。

01

【S様邸】
丹波市



02

【G様邸】
福知山市



03

【T様邸】
福知山市



04

【U様邸】
福知山市



05

【W様邸】
丹波市



新年度から、
住宅事業部に新たなメンバーが加わり、
10人体制でスタートしました！
どうぞ、よろしくお願い致します。

よろしくお願い致します！



— オヤコLab. news —

前号の住まいのニュースで、『オヤコ Lab.』がリニューアルするお知らせをしました。仲良し親子のみなさんと、ヨネダの家づくりに携わってくださっている業者さんを交えたヨネダスタッフが一緒に楽しむ《ものづくり》の場。

その記念すべきリニューアル後の第1回は、**大工さん**に参加していただくことになりました♪大工さんならではの特色を生かした《ものづくり》の場になるよう、ただいま内容を検討中です。

次回のご報告をお楽しみに♪



住宅事業部

STAFFコラム

今回の担当は、
プランナー
味村早紀

です。



最近こんな記事を見つけました。

『海水温？地震の予兆？深海生物が次々浮上する謎』

-2014年4月14日 読売オンラインより-

深海魚！？

深海魚と言えば、シーラカンス。しか思いつきませんが、あんな格好いい（不気味）な魚がどうしたの？？

残念ながら（？）シーラカンスではなく、ダイオウイカという深海生物が日本海沖で次々と発見されているらしいのです。（ダイオウイカのかわいらしい写真がなかったので、敢えて掲載は控えます。）深海魚がこんなに発見されることはある話ではないようです。『専門家は、日本海の構造と海水温の変化の影響で、深海の冷水の層が通常より厚くなり筋肉が発達していない深海魚は、普段より厚い冷水の層に遭遇しても逃れられず、衰弱して浮き、岸近くに押しやられたのでは』と推測している。』-2014年4月14日 読売オンラインより-なんだか深海生物のことが気になってきました。

さて、静岡県に世界で初めて深海をテーマにした水族館、沼津港深海水族館があるそうです。

世界で唯一シーラカンスの冷凍標本がみられるそうですよ。

シーラカンスは生きた化石と言われていて、なんと恐竜が生きていた時代から実在するそう。あまり環境が変化しない深海に生きる生物だからこそ生き残れたのかもしれませんね。それでも深海生物って不気味。。。深海生物はまだまだ謎がたくさん。神秘の世界を知れるチャンスですね。



タコやイカに近い仲間ですが、スミを持っています。硬い殻は身を護るために役立ちますが、水深800mを超えると、水圧に耐えられず割れてしまいます。

細かい棘がある、丈夫な厚い皮膚で覆われています。危険を感じると水を飲み込み体を膨らませます。頭上には獲物を捕まえるための疑似餌を持っています。



シーラカンスと同じく、生きた化石と呼ばれる深海のサメです。鰓の膜がヒダ状でフリルのように見えることからフリルシャークと呼ばれています。



「海の掃除屋」と呼ばれ、海底の動物の死骸や弱った生き物など何でも食べます。ダンゴムシやフナムシと同じ仲間で、最大で50cmにもなります。



シーラカンスの冷凍標本

生きた化石「シーラカンス」は、1938年、南アフリカで発見されました。

3億5000万年前と変わらぬ姿のまま今もどこかで泳いでいるかも知れません。



オーストラリア周辺に住む、重さ15kgにもなる世界最重量のカニ。主に中国で中華料理の食材として扱われています。

角ばった体のこの深海のエビは、眼が殆ど退化しています。脚の全てがハサミになっているのが「千手エビ」の名の由来。

◆ヨネダの住宅ラインナップ◆

エコな暮らしを
楽しむ家



デザインを
楽しむ家



ナチュラルを
楽しむ家



コンパクトを
楽しむ家



北海道の家
Hokkaido no ie

高気密断熱で、冬暖かく夏涼しい心地よさを実現。外気温だけでなく部屋間の温度差もおさえ、「ヒートショック」の負担を軽減した住まいです。快適な暮らし心地と冷暖房費の節約など、人と地球に優しい暮らしはじめます。

本体参考価格

1,684万円(30坪)

※表示価格は全て消費税(8%)込みです。

※表示価格には、地盤調査・地盤改良・屋外給排水工事・ガス工事、エアコン工事・カーテン工事・居室照明器具にかかる費用並びに、設計料・建築確認申請費用・検査費用・水道加入金・諸経費(金融機関諸経費・登録免許税・不動産取得税など)は含まれておりません。

※価格は参考価格となっております。自由設計の性質上、同じ坪数の建物でも上記価格より増減する場合がございます。

暮らしのそばに

株式会社ヨネダ 住宅事業部 ☎ 0120-406-217

京都府福知山市宇堀小字道場2433番地 TEL:0773-22-6899 FAX:0773-22-1516

